

令和5年度
学校関係者評価報告書

令和5年6月15日（木）

島原市医師会看護学校

学校関係者評価委員会

令和5年度学校関係者評価委員会

1. 開催日時 令和5年6月15日(木) 14:00～16:00

2. 委員

	所属
委員長	前長崎大学教授
副委員長	長崎県島原病院看護部長
委員	前同窓会 会長

3. 学校関係者

学校長
副校長
教務主任
事務長

4. 領域別評価及び意見

教育理念・ 教育目標	看護科の将来の構想に努力が見える。学校案内、ホームページ等学校紹介の工夫や方法について検討され、課題も明確であり、評価は適切と思われる。
学校運営	一早く、タブレットを導入してあり、対面授業などが困難な状況の時、学習に支障なくICT教育に取り組んでいた。その折、不得手な講師には適切なサポートがなされていた。 コロナ禍で臨地実習の受け入れが困難な時は、オンラインで患者や指導者とやり取りを行い、臨場感ある実習ができている様子うかがえた。しかし、教員も新たな取り組みのため戸惑っている現状もあったので、ICT教育の活用方法に努力してほしい。 また、教育環境の変化に伴い、教員の負担も大きく、健康管理についても環境調整に努力してほしい。
教育活動	今後の教育構築において、多様性を持った個々の学生の潜在能力をいかに発揮させるか、社会人基礎力をどのように育てていくのかなど充分検討してほしい。 施設、地域との関わりを通して明確になっていくこともあると考える。

教育成果	<p>看護師国家試験合格率は、先生方の努の賜物だと思う。</p> <p>「卒業生の進路状況・卒業生の特性」の評価項目については、卒業生や看護部長等から聞き取り等行って現状把握に努力されている。また、施設と連携を取り離職防止に繋げるなど、学校の努力が伺える。</p>
学生支援	<p>学生相談については、学年担当者や学生が相談しやすい教員など全員で学生を支援するという体制にある。時には、教務主任、副学校長が対応している。カウンセリングは専門のカウンセラーによる学生対応も行っている。学生の自己成長を大切に見守っていることが理解できる。</p>
教育環境	<p>図書、教材の補充、システムの整備状況については、教員の意見が反映されている。</p> <p>防災体制については、各種規程、内規、感染症対策としてはマニュアル、フローチャートを作成し、共通理解できるようにしている（コロナ、インフルエンザなど）。</p>
学生の募集と受け入れ	<p>18歳人口の減少により高校新卒者の減少が目立ってきている。これからは、他分野で経験して看護を勉強したいと考えている人達への働きかけがより一層大切になってくる。</p>
財務	<p>年度予算の執行については適切と思われる。</p> <p>固定資産や図書、物品の管理についても適切に行われている。</p> <p>今後、18歳人口の減少や県外進学者の増加などによる、収支への影響に耐えうる財務基盤の構築を行っていく旨の説明があった。</p>
法令遵守	<p>14条報告を行い、問題なく学校運営がなされており、法令を遵守していると考え。したがって、法令の努力義務を果たしていると考え。</p>
社会貢献・地域貢献	<p>地域の高等学校への出前授業、外部への施設の活用など、地域貢献されている。できれば高等学校以外にも出前授業を試みられると、更なる学生募集に繋がるのではないのか。今後に期待するものである。</p>

2. 総括

学校としての取り組みは良くなされているので、今回の意見等を参考に学校運営に活かせることを期待します。